

第3章 ニーズ調査

3-1 調査内容

<企業・関係団体へのヒアリング等調査>

ヒアリング先：金沢港を利用している荷主企業（20社）

金沢港の利用が今後期待できる荷主企業（11社）

船会社（8社）、荷主会社（1社）、エネルギー関連企業（2社）

地元まちづくり団体、経済団体、関係協議会などを対象



<県民アンケート調査>

調査時期：令和5年5月30日～7月2日

調査方法：WEBアンケート、現地アンケート

調査対象：石川県LINE登録者、県政モニター、金沢港内の来訪者、地元町会、
地元高校等

回収数：3,587件（男性52%、女性47%、不明1%）

<クルーズ船乗船客アンケート調査>

調査時期：令和5年9月13日～10月4日

調査方法：現地アンケート

調査対象：クルーズ船乗船客

回収数：203件

3-2 調査結果

3-2-1 企業・関係団体へのヒアリング等調査

(1) 荷主企業

将来における金沢港の新規利用・拡大の可能性の有無について確認したところ、約 3 割の企業から「新規利用や利用拡大の可能性はある」との回答がありました。

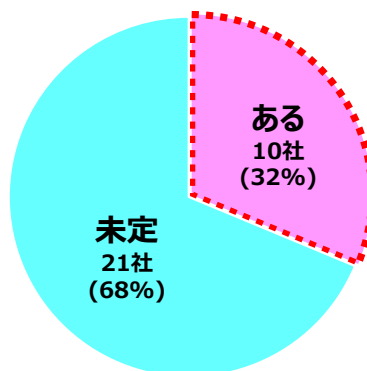


図 3-1 将来的に金沢港の新規利用・拡大の可能性の有無

荷主企業からは、以下について要望する意見がありました。

- ・ コンテナトレーラーとセメント搬送車の動線が輻輳しており、危険な状態なので、改善してほしい。
- ・ 他貨物船と希望時間が重なった時の調整が困難。同時に荷揚げできる体制を整えてほしい。
- ・ 外貨貨物を大浜ふ頭へ集約することが望ましいのではないかと。
- ・ 東南アジアや台湾、北米、欧州向けの直行便を開設してほしい。
- ・ 既存航路を増便してほしい。
- ・ 貨物搬入を柔軟に対応できるよう倉庫の不足に対応してほしい。
- ・ 冬季の荒天時、季節風による高波が防波堤を超えるため、冬季の寄港を懸念する船社が多い。また、埠頭の数が少なく、荒天時の避難も不可能となる場合がある事が懸念される。季節風等による越波の軽減措置と、荒天時の迅速な船舶避難を要請。
- ・ 特に冬場、天候の影響を受け船スケジュールの乱れがでないような対応が必要。

(2) 船社

船社からは課題要望として以下の意見がありました。

- ・ 今後、大型コンテナ船への変更の可能性があるため、大型コンテナ船が対応できる岸壁が必要。
- ・ 大浜と戸水の両方で荷積作業を行うことがあるため、貨物ヤードを集約すれば効率的になる。
- ・ 老朽化した港湾施設の補修（防舷材、係船柱）を計画的にお願いしたい。
- ・ 水深が浅くなっており、大きめのチャーター船を手配できない。
- ・ 搬出入する貨物の自動読取システムやターミナルと船会社の状況をデジタル化してほしい。
- ・ 航路が狭く、事故の発生に繋がる可能性が高い。

(3) 荷役会社

荷役会社からは課題要望として以下の意見がありました。

- ・ 御供田ふ頭の岸壁水深が浅く、ヤードが狭く、いびつなため作業効率が悪い。
- ・ セメント船と鋼材船は同じ岸壁を使用しており、輻輳した場合は、荷役作業に支障が生じている。
- ・ 五郎島ふ頭において、海上保安庁巡視船の停泊による貨物船と輻輳しており、荷役作業に支障が生じている。
- ・ 岸壁形状により、ガントリークレーンの相互利用が出来ず、また、離着岸が難しい。
- ・ 作業員不足が原因で、荷主や船会社の期待に応じることが難しくなっている。
- ・ 御供田ふ頭 3 号岸壁東側の水域は水深が浅く、狭いため回頭しにくい。離岸時、船舶が座礁する可能性もある。

3-2-2 県民アンケート調査

(1) 金沢港への訪問経験、訪問頻度

約7割が金沢港に来たことがあり、そのうち、約6割が年に数回以上来ていました。

また、年齢階層別では若年層の訪問頻度が少ない傾向が見られました。

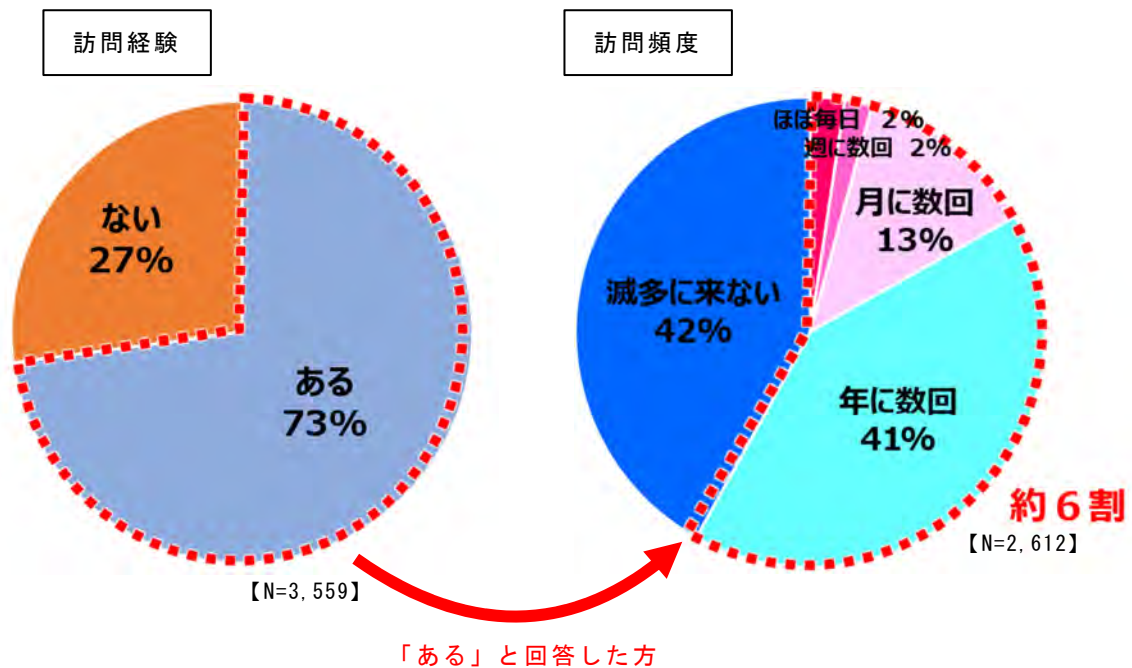


図 3-2 金沢港への訪問経験、訪問頻度（「ある」と回答した方）

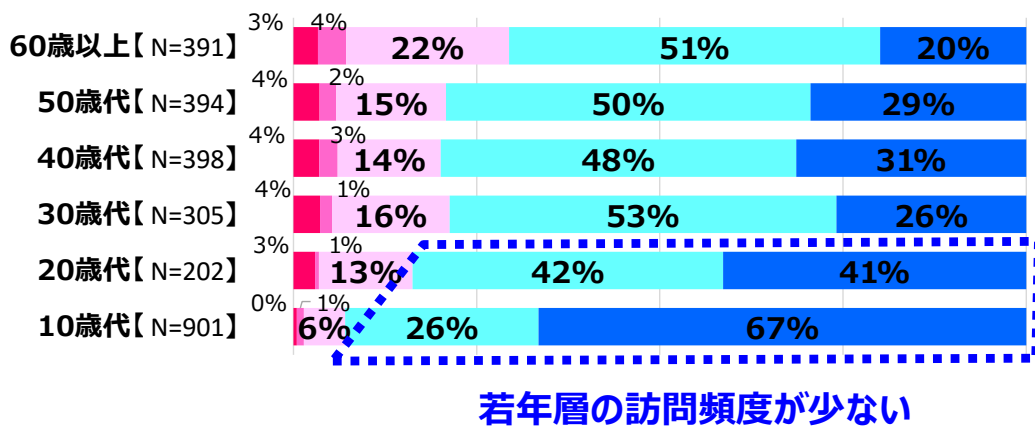


図 3-3 年齢別金沢港への訪問頻度（訪問したことがあると回答した方）

(2) 金沢港への主な訪問目的

観光、催し物、食事といった目的が48%で、次いで散歩、休憩といった目的が36%となりました。

居住地が金沢港に近いほど、「散歩」や「休憩」で訪れる割合が高く、遠方から来られた方ほど、「観光」、「催し物」などで訪れるとの回答が多くありました。

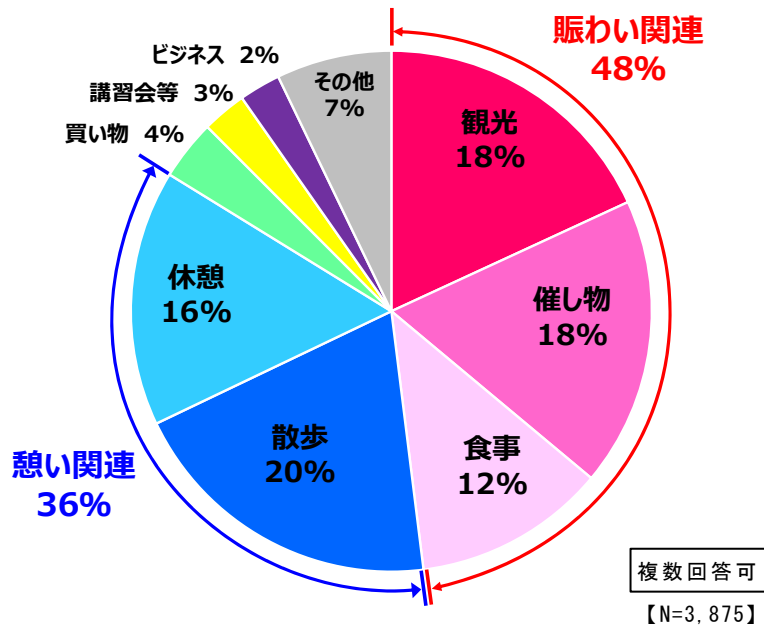


図 3-4 金沢港への主な訪問目的

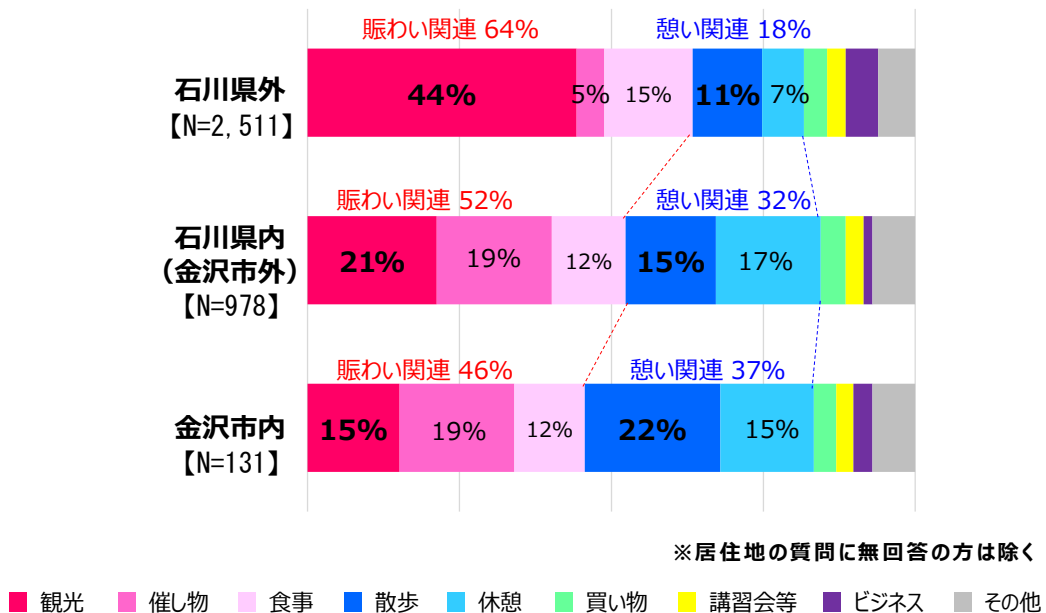


図 3-5 居住地別金沢港への主な訪問目的

(3) 金沢港までの主な移動手段

「自家用車（バイク）」が最も多く75%、次いで「自転車」が11%、「徒歩」が8%、「路線バス」が3%となりました。

一方、県外からの来港者の移動手段は、自家用車に次いで、路線バスやその他の観光バス、タクシーの利用が多く見られました。

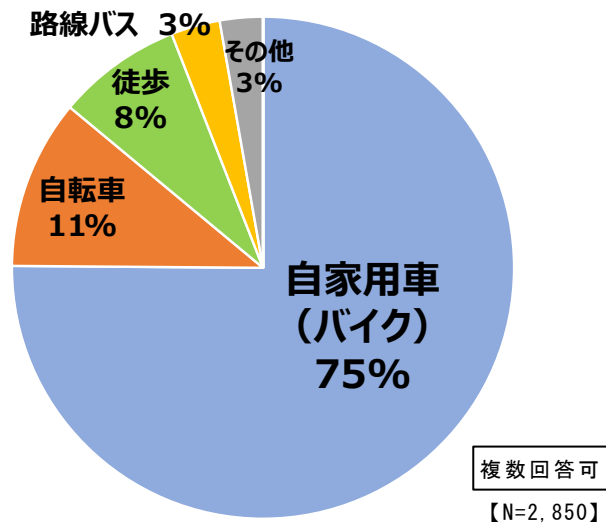


図 3-6 金沢港までの主な移動手段

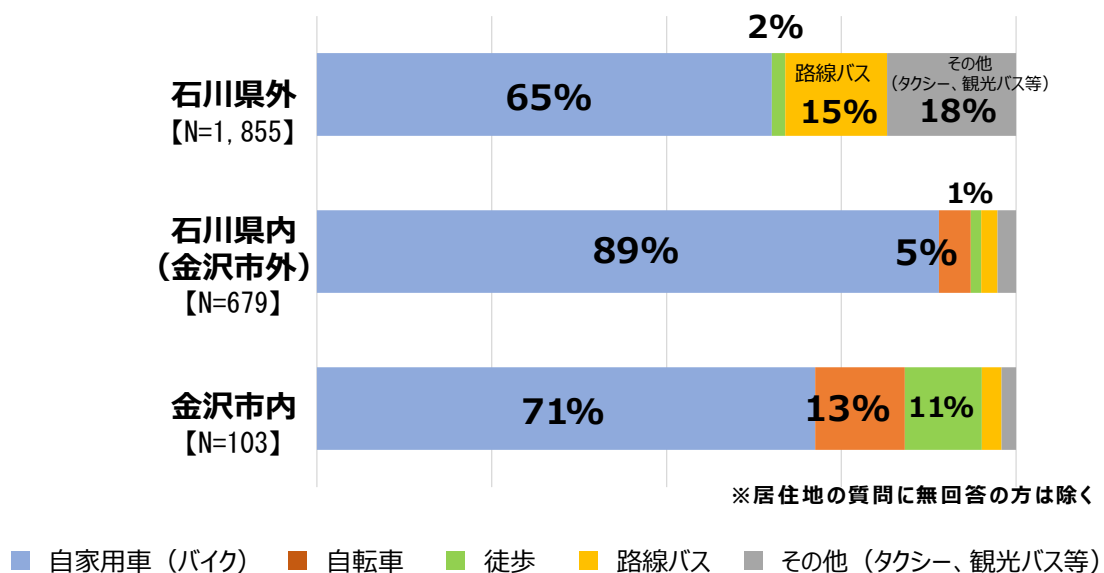


図 3-7 居住地別金沢港までの主な移動手段

(4) 金沢港の問題点

「物販施設の不足」が最も多く41%となりました。次いで、「交通の便が悪い」、「休憩施設の不足」との回答が多く見られました。

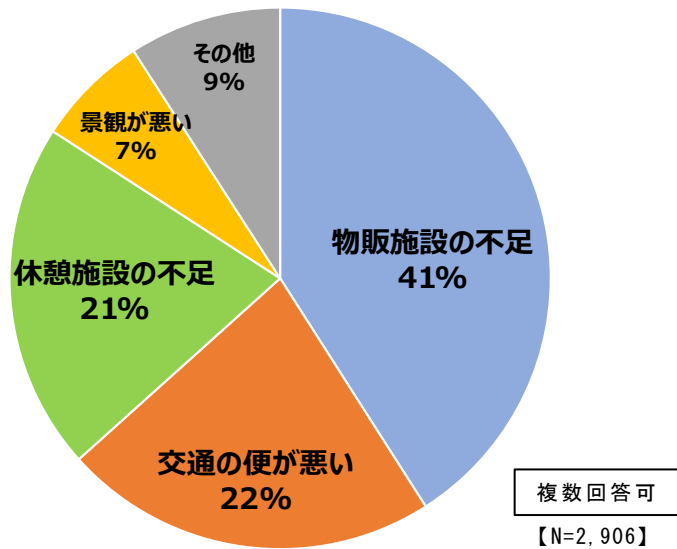


図 3-8 金沢港の問題点

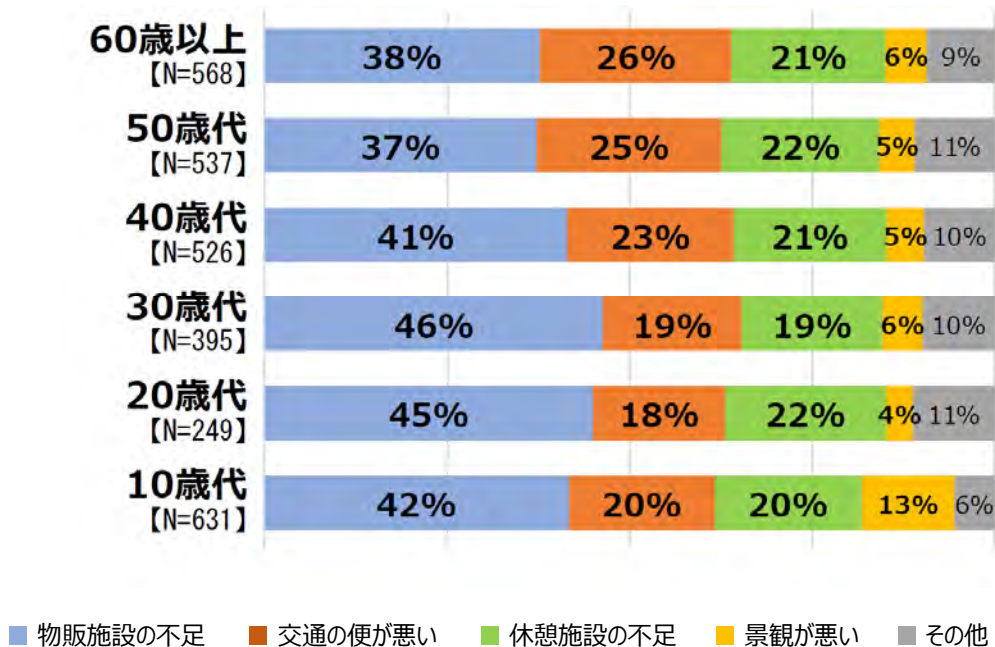


図 3-9 年齢別金沢港の問題点

(5) 金沢港への交通の利便性

約2割が交通の利便性に不満に感じており、特に年齢層が高くなるにつれ、不満を感じる割合が高い結果となりました。

不満に感じている人は、「路線バス」、次いで、「駐車場の整備」、「アクセス道路の整備」を求める意見が多く見られました。

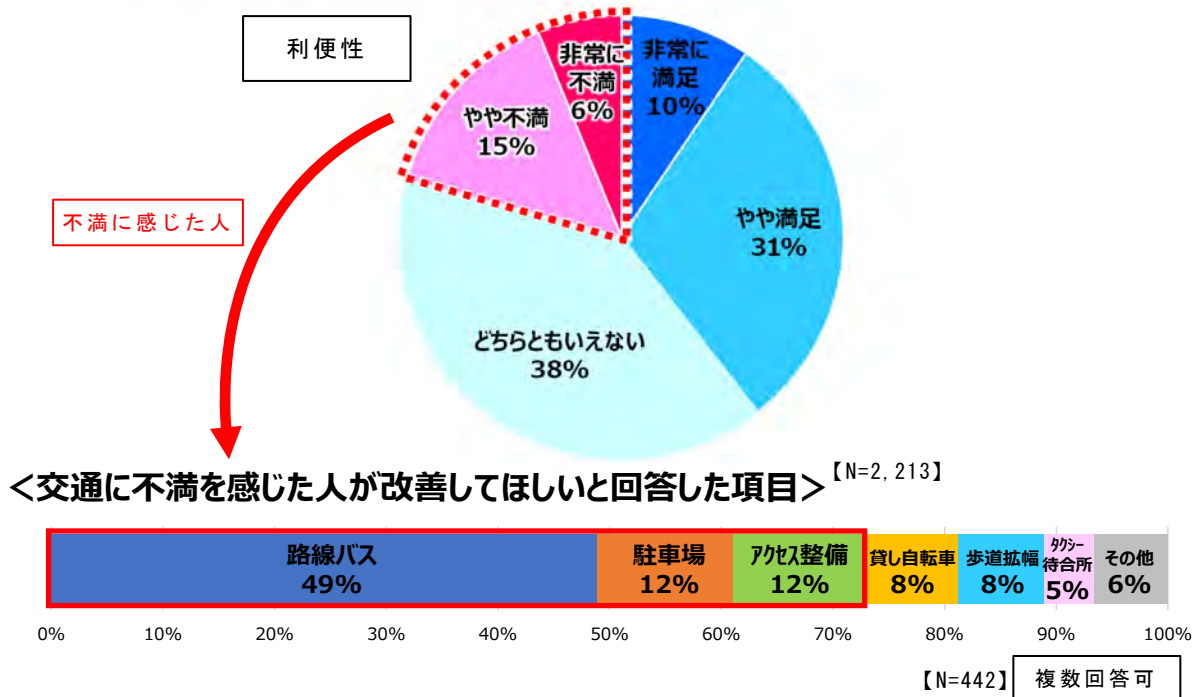


図 3-10 金沢交通の利便性と不満を感じた人が答えた改善点

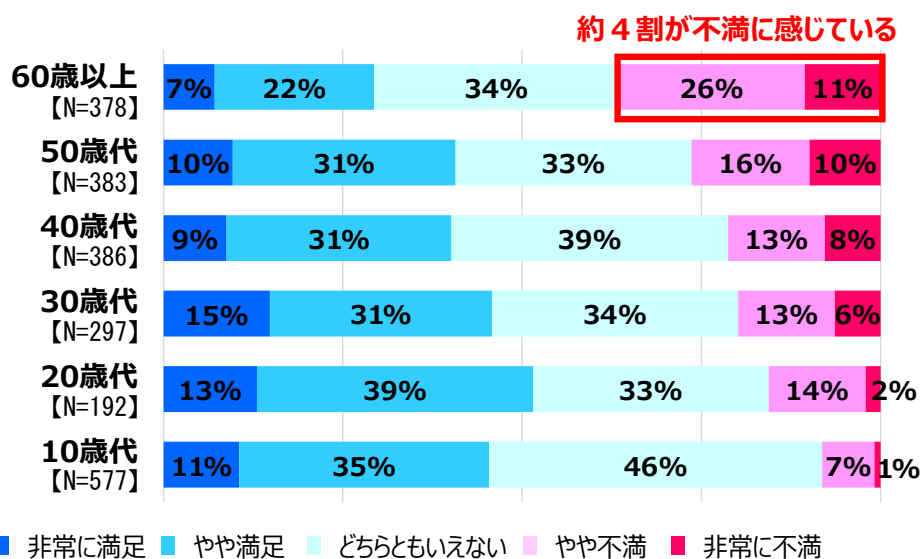


図 3-11 年齢別金沢港への交通の利便性

(6) 金沢港の景観

約1割が金沢港の景観に不満に感じており、不満に感じている人は、「視点場が少ない」、「色彩が不統一」、「建物の老朽化」、「自然が少ない」などの回答が多く見られました。

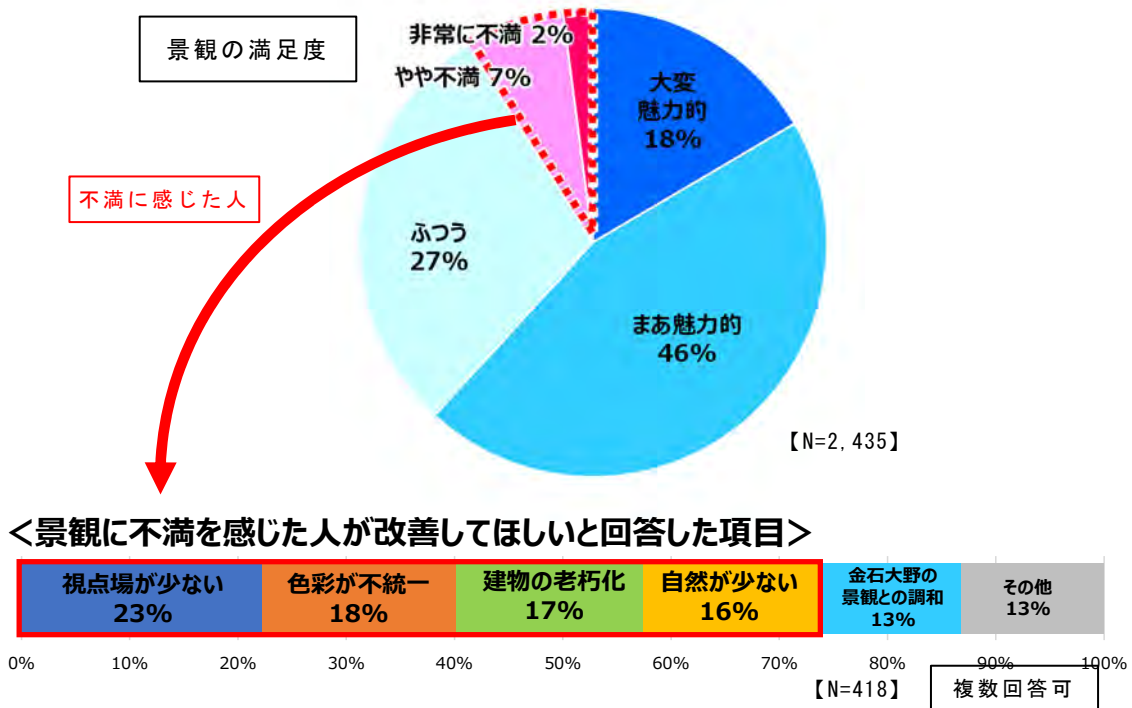


図 3-12 金沢港の景観の満足度と改善点

(7) クルーズターミナル周辺に求める施設・空間

「飲食・物販施設」、「公園・多目的広場」、「交流拠点施設」等といった賑わい・憩いを求める回答が多く見られました。

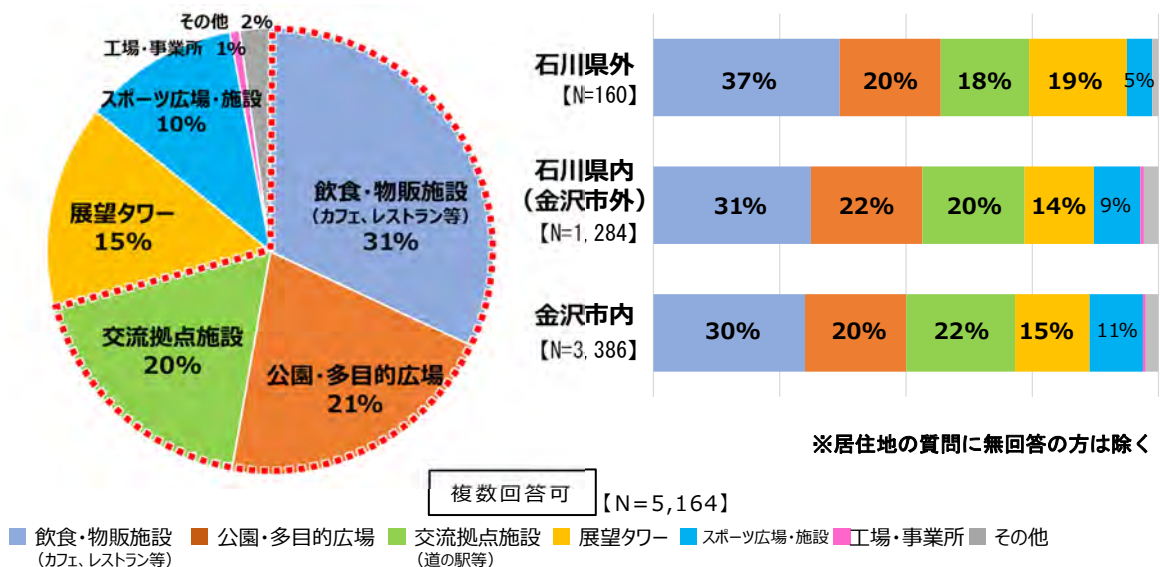


図 3-13 クルーズターミナル周辺に求める施設・空間

(8) 金石大野埋立用地の利用方法

「緑地・公園施設」、「スポーツ・レジャー施設」等の憩いの場を求める回答が最も多く見られ、次いで「飲食店」、「物販施設」などの賑わいの場を求める回答が多くありました。

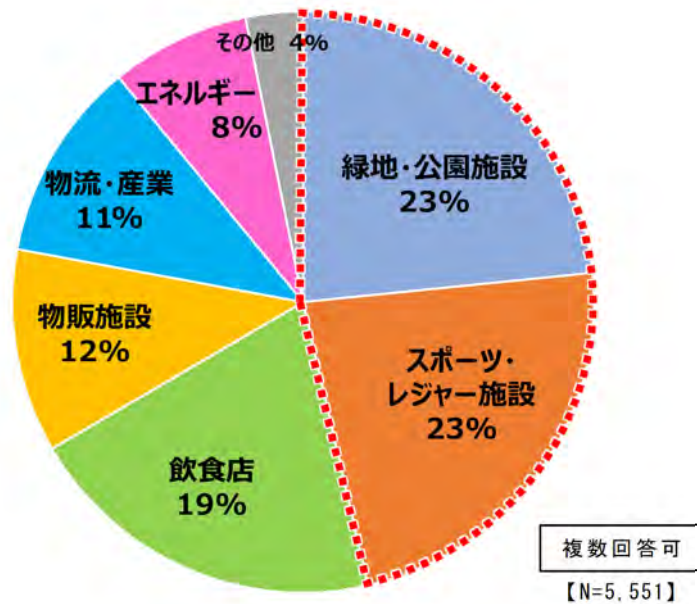


図 3-14 金石大野埋立用地の利用方法

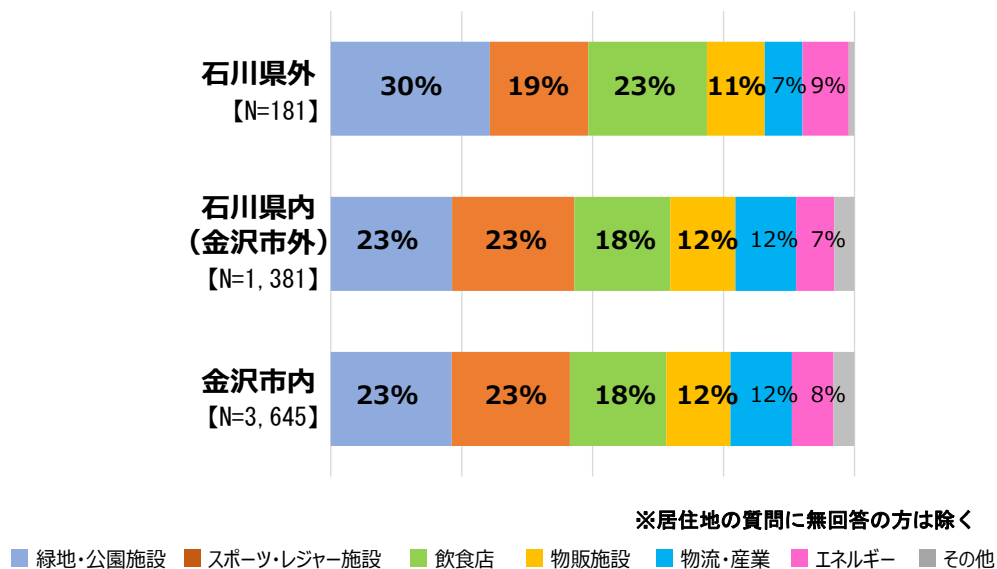


図 3-15 居住地別金石大野埋立用地の利用方法

3-2-3 クルーズ船乗船客アンケート調査

(1) 金沢港の問題点

「物販施設の不足」が最も多く23%となりました。

次いで、「交通の便が悪い（18%）」、「休憩施設の不足(17%)」との回答が多く見られました。

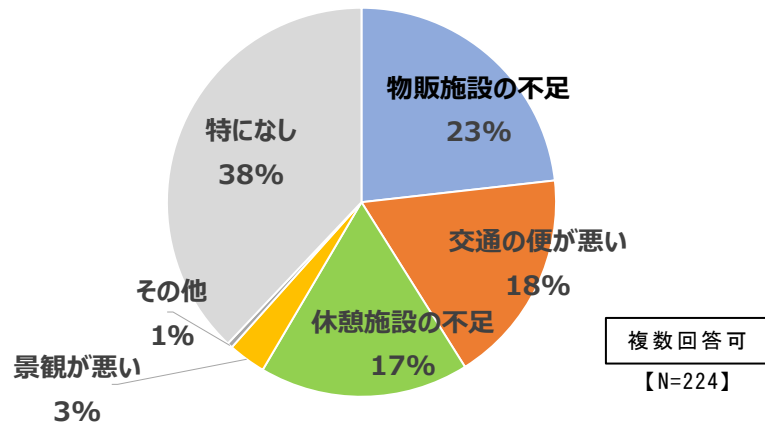


図 3-16 金沢港の問題点

(2) 金沢港への交通の利便性

2割弱が交通の利便性に不満を感じており、不満に感じている人は、「路線バス」、次いで、「タクシー待合所」の整備・改善を求める意見が多く見られました。

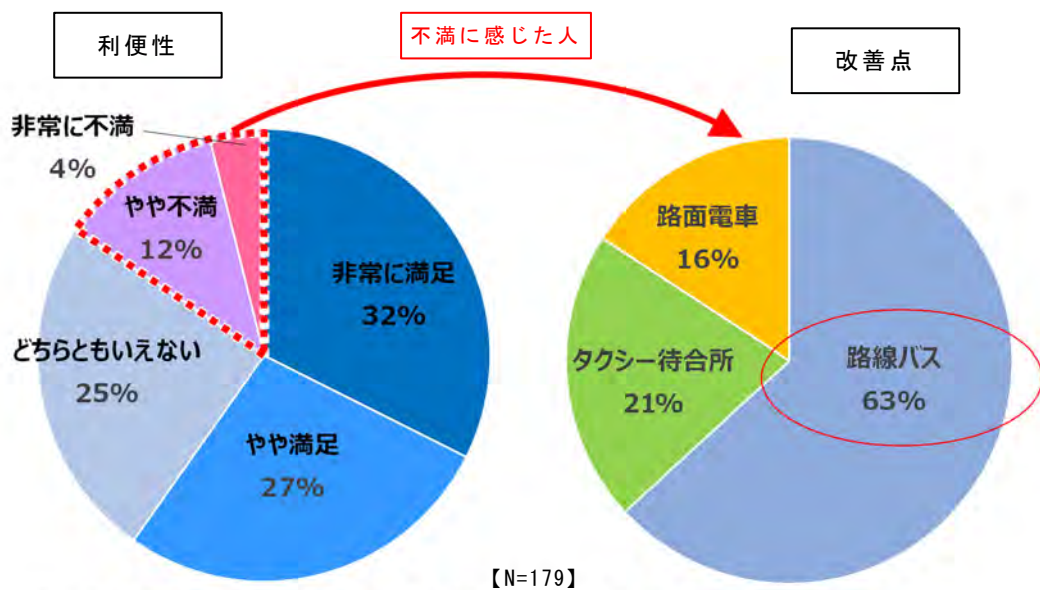


図 3-17 金沢港への交通の利便性と不満に感じた人の問題点

(3) 金沢港の景観

魅力的ではないと感じている方はとても少なく、魅力的ではないと感じている人からは、「視点場が少ない」が最も多く、次いで「自然が少ない」との回答がありました。

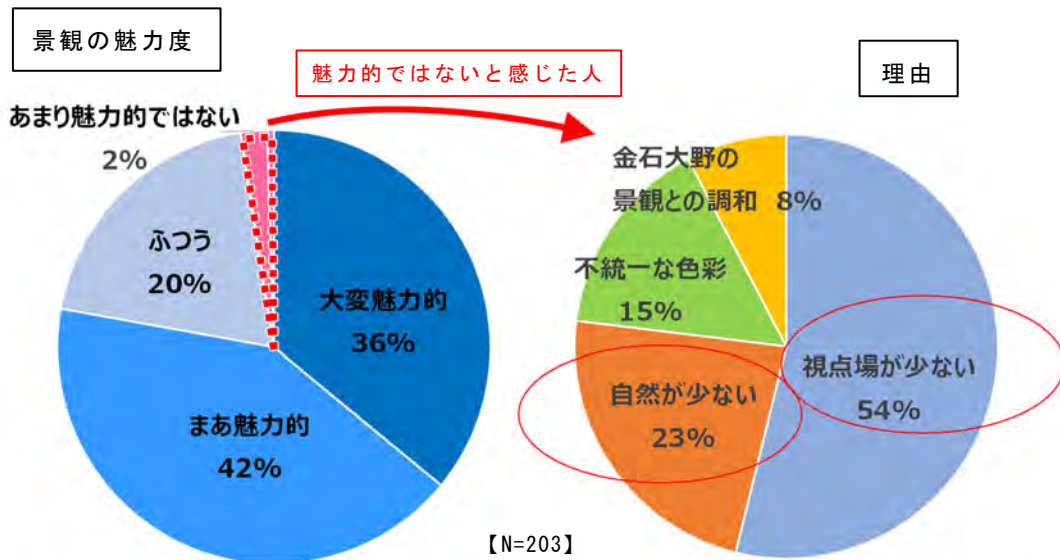


図 3-18 金沢港の景観の魅力と魅力的ではないと感じた人の理由

(4) クルーズターミナル周辺に求める施設・空間

「飲食・物販施設」、「公園・多目的広場」、「展望タワー」、「交流拠点施設」等といった賑わい・憩いを求める回答が多くを占めました。

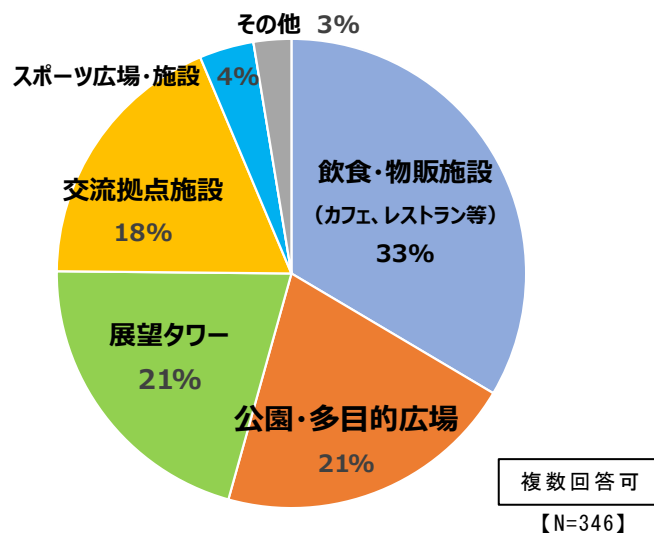


図 3-19 クルーズターミナル周辺に求める施設・空間

(5) クルーズターミナル内の観光案内デスクの場所

「場所が分かりやすかった」との回答が9割以上を占めました。

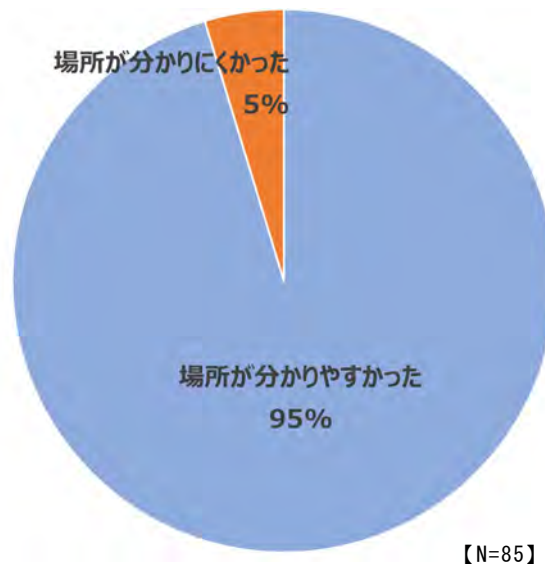


図 3-20 クルーズターミナル内の観光案内デスクの場所の分かり易さ

(6) クルーズターミナル内の観光案内デスクの利用

不満に感じている方はとても少なく、不満に感じている人は、「行きたい場所のパンフレットがなかった」が最も多く、次いで、「案内者が少なかった」との回答が見られました。

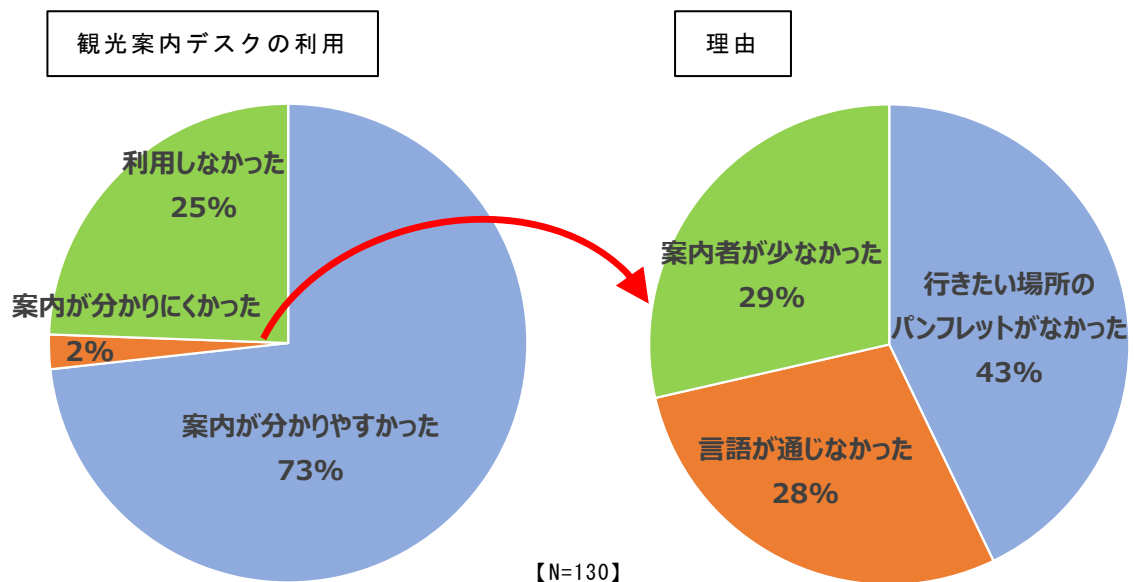


図 3-21 観光案内デスクの利用と分かりにくかった理由

(7) 金沢港近隣の「北前船ゆかりの寺社」等のスポットをめぐるツアーへの参加意向

「是非参加したい」、「少し興味がある」の回答が9割弱を占めました。

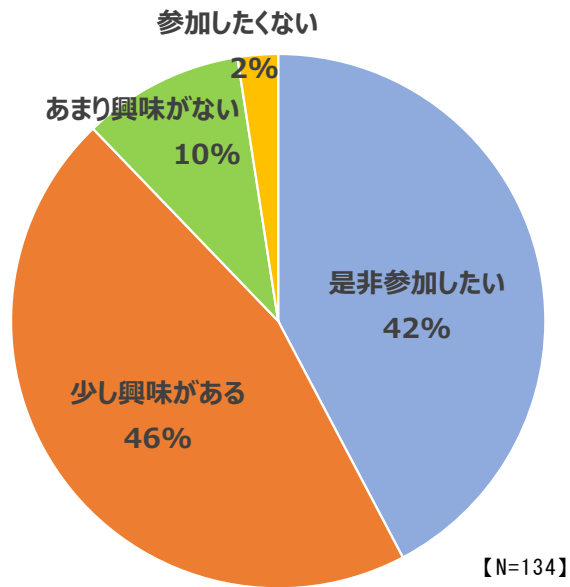


図 3-22 ツアーへの参加意向